

# 反戦貫いた女性を映画化

## 「伊藤千代子の生涯」 県実行委発足

昭和初期の社会活動家で国の弾圧により24歳で死去した伊藤千代子（1905〜29年）の生

涯を描く劇映画「伊藤千代子の生涯（仮）」の製作・上映を成功させる県実行委員会が12日発足した。那覇市の沖縄青年会館で同日、総監督の桂壮三郎さん

抗した女性の姿を描く。現代でも形を変えた問題はあり、二度と起こさぬよう若い人に知ってほしい」と述べた。

劇映画の支援組織は「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」が中心となり、全国各地で発足。県本部の村山純会長は「治安維持法下、沖縄でも100人前後が犠牲になった。基地問題含めて今に通じる問題があり、ぜひ沖縄でも上映を成功させたい」と話した。

（73）＝埼玉県＝を招いた「発足の集い」があり、約30人が参加した。

桂さんは、59年の石川・宮森小学校米軍機墜落事故を描いた映画「ひまわり」沖縄は忘れない、あの日の空を」（2013年）の企画・製作者。今回の劇映画は21年10月にクランクイン予定で、22年3月完成、5月公開を目指す。

桂さんは11日の記者会見で「民衆の幸せのためにという思想信条で反戦平和の活動をし、天皇制の時代に弾圧を恐れず抵

.....

2022年春の公開を目指す劇

映画「伊藤千代子の生涯（仮）」に懸ける思いを語る総監督の桂壮三郎さん（中央）＝11日、県庁

